

7月20日1学期終業式を迎えました。緊急事態宣言、まん延防止等重点措置を経て制限を受けた学校教育活動でしたが、生徒、保護者の皆さんの協力と教職員の皆さんの努力のおかげで何とか1学期を乗り切ることができました。本当にありがとうございました。終業式では、生徒職員へのお礼とともに「普通」ということについて話をしました。「普通」の意味は「多くの人が当たり前だと思っていること」とあります。「普通にしろ、普通にかわいい、普通の生活がしたい」などいろいろな場面で使われます。普通の基準は変わっていき、例えば昔は「ばてるから運動中に水を飲むな」と言われたのが、今は熱中症のこともあり水分補給はしっかりと行うようになっています。



また阪神淡路大震災以後普及した携帯電話はスマートフォンに進化し、多くの人々が持つようになり、来年度の入学生からはタブレットを一人一台持って登校してくるようになるなど普通の基準が機械の進化とともに変わってきています。そのような変化に対応しなければならない部分もある一方で、自分自身の普通はどんな状態なのか、どうやって守ったり進化させたりしていくのか、誰に協力してもらうのかなどしっかりと考えていかねばなりません。夏季休業は少し時間に余裕がある分そういったことをしっかりと考えて2学期以降に臨んでほしいという内容の話をしました。工夫して考え知恵を出し合えば、できないと思われたことができるようになるかも知れませんし、そのように考えていくことが普通になれば、普通のレベルは上がっていくと思います。文化祭の代わりに実施した文化発表会で生徒、教職員は知恵を出し合い、工夫して考えてクラスのステージ発表の内容を考え、発表会を成功に導きました。その経験を繋いでいくためにも、今一度自分の普通の生活についてしっかりと考え、2学期以降のそれぞれの学年の考えねばならないことに臨んでほしいと思います。私の話の後、生徒指導部長からは自転車の乗り方やSNSについての注意事項がありました。これも普通に皆さんの生活にあるもので、癖や考え方が大きく反映されるものです。周りの状況をしっかりと見極め、自分がどうすべきか、どうあるべきか、相手にどうかかわっていくべきかなど、こういった日常的なことでもしっかりと意識していかねばなりません。事故や病気、けがなく元気で9月1日に会いましょう。



19日に行われた生徒会認証式(左)、表彰伝達(中)、全国大会壮行会(右)の写真です。表彰伝達では文化発表会の表彰も

ありました。球技大会の表彰は生徒会長がしました。全国大会壮行会では、陸上部、柔道部、美術部が2名ずつ並び、代表者が挨拶しました。それぞれの健闘を讃えるとともに全国大会での活躍を期待しています。

また梅雨明けしてすぐ、熱中症アラートが発令されるなど35度を超える猛暑となりました。部活動中に倒れないためにも、先生方の協力が不可欠です。熱中症指数計で測り、注意喚起しながら活動を行うようしてください。またこのような中でも大会は行われます。大会、コンクール等でも生徒の安全安心を第一に考えて、臨むようにしてください。生徒の皆さんは自己の体調管理に気を付けて、大会等に臨みましょう。

21日から東京オリンピックが開幕します。開会式は23日ですが、サッカーとソフトボールは21日からとなっています。新型コロナの問題や関係者の辞任など多くの課題を抱えながらもここまで来ました。選手には純粋に頑張してほしいですし、大会としても成功を祈っていますが、何をもって成功とするのかはいろいろあるかも知れません。予期せぬ対応を迫られることもあるでしょう、新型コロナ感染も第5波に突入するのかどうか、ワクチン接種はどのようになるのかなど気になる材料が多いです。プロ野球やJリーグは観客を入れているのにオリンピックは無観客、その部に感染者が出ていないのに学校関係者が感染したら出場を辞退しなくてはならないことが問題となった高校野球など、もう少し冷静にしっかりと状況を判断できるようにしていきたいですね。そして、何が普通なのかがわかりにくくなってきて、基準も曖昧で右往左往する状況は避けなくてはなりません。オリンピック観戦しながら、感染状況を確認しながら、私たちができることは応援と感染防止対策です。そのことをしっかりと認識して、夏季休業を充実したものにしていきたいですね。三者面談、補習等ご協力をお願いします。